



たんぽぽ

かわさき生活クラブ生活協同組合 理事会
発行責任:野村美湖
編集責任:機関紙編集委員会
問合せ:kawasaki.seikatsu.club@gmail.com

特集 私たちの地域の拠点 デポーへ行こう!

CONTENTS

- 1~3 特集:私たちの地域の拠点 デポー
- 4~5 かわさき第19回通常総代会報告
- 6 理事紹介、組合員のパートナー-W.Co
- 7 レポート
- 8 レポート、インフォメーション

生活クラブには、ライフスタイルで選べる2つの共同購入の形態があります。カタログやWEBで注文して自宅などで受け取る宅配型の「 commons」と、直接見て買える店舗型の「デポー」です。

かわさきには、のぼりと・宮前平・たかつの3つのデポーがあります。

デポーってどんなところ?



買い物だけではない、人とのつながりを大切にし、情報が行き交う交流の場「地域の居場所」としての機能も兼ね備えています。

FEC+Wの拠点、デポー

生活クラブでは、食(Foods)、エネルギー(Energy)、福祉(Care)をできるだけ地域内で自給するFEC自給圏づくりを、身近な地域で働く場(Work)もつくりながらすすめています。



デポーでは、組合員とワークーズが、ともに所有感を持ってFEC+Wの拠点づくりをすすめています。

のぼりとデポー10月リニューアルに向けて

どんなデポーだったら気持ちよく使い続けられるのか、組合員が参加して夢を描き、レイアウトや内装を検討していきます。2016年4月にはたかつデポー、2018年8月には宮前平デポーがリニューアルをしました。のぼりとデポーでは、リニューアルに向けて色々なお楽しみ企画を計画しています。みんなで盛り上げていきましょう!



↑2022年7月現在ののぼりとデポーリニューアルでどのように変わるのか楽しみです。



フード F 消費材(食材)を知り 入手できる場所!

生活クラブのおいしい、こだわりの食材が購入できます。
生産者が来所し、直接消費材のこだわりを聞けたり、組合員が企画する生産者交流会で消費材について学ぶことができます。私たちが消費材を利用することで、添加物、農薬、放射能、遺伝子操作などの問題への意思表示をしているのは、コモンズもデポーも同じです。

エネルギー、エコロジーの発信の場所



気候危機対策である再生可能エネルギーの利用を進め、生活クラブでんきへのスイッチングをすすめています。買い物ついでに消費材のリユースピンを返却してCO2削減に参加、実践しています。買い物袋の持参は、デポーでは当たり前。OPEN当初から行っています。使用済み油を石けんにリサイクルして水環境を守る廃食油回収のポイントにもなっています。



ケア C お互い様のたすけあいの輪が広がる場所

組合員同士のたすけあいのシステムであるエッコロ共済、エッコロプラスの顔が見える関係が広がる場所です。買い物代行ケアや集団託児ケア等の組合員によるたすけあいの実践の場、趣味の集まりであるエッコロ広場の活動の場です♪生活クラブ共済ハグくみについても対面で呼びかけがされています。



自分らしく地域で働く場所 W ワーク

組合員が快適に買い物できるように発注やレジ打ちなど専門的業務の委託を受けて働いているのは W.Coデポットのワーカーズです。フロアで消費材を語り、使い方や食べ方のアドバイスしてくれる頼もしいパートナー♪デポー組合員が自らデポーの品出しや袋詰め等の単純労働に参加し、その分の経費返還を受けるワークシステムへの参加は、デポーは組合員が運営する協同組合であることが実感できる機会です!



みんなの ふれあいの拠点 デポー



宮前平デポー「ままのわ」

お店に来れば食べ方や消費材について教えてもらったり、地域のことやお困りごとについて情報交換したり、みんなのやりたい!を仲間と共に形にできる地域拠点♥
買い物だけじゃない! 心も満たされるお店です。

デポーだいすき♥



のぼりとデポー
『手仕事広場』



たかつデポー
フードバンク



たかつデポー
フリーマーケット



デポ-のココが好き♡かわさき3デポ-の組合員の声をご紹介します

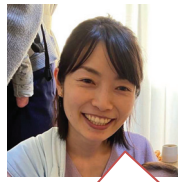
のぼりとデポ-



紹介くださった
組合員
明石 博子さん

自分達のお店で安心安全な消費材が買えて、例えば組合員同士で献立などのお話ができることです。鮮魚は対面販売で「お魚の調理の仕方」を教えてください。また、今はコロナのため中止ですが、多くの生産者が来所して、こだわりのある消費材の話の聞いたり、試食したりできることです。そして、デポ-の立地場所が駅に近いのがとてもいいと思います。

宮前平デポ-



紹介くださった
組合員
佐藤 笑加さん

一番はやはり安心・安全な消費材が買えるところです。欲しい時に、欲しい物が、自分の目で実際に見て買えるのが宅配には無い魅力だと思います。ワーカーズさんにも顔を覚えてもらって、行くと明るく挨拶してもらえたり、子ども達にも声をかけてもらえる事がとても嬉しいです。

たかつデポ-



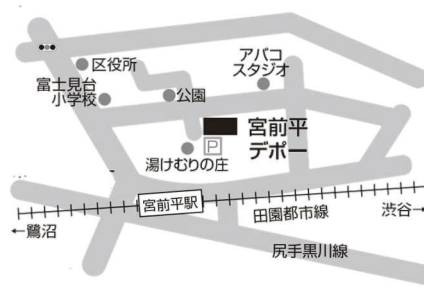
紹介くださった
組合員
浅田 美鈴さん

デポ-で、沢山の人とつながれる事が私は好きです。ワーカーズのみなさんが明るく話しかけてくださいます。鮮魚コーナーでは美味しい魚の食べ方やレシピを教えてください。以前はあまり魚を調理することはなかったのですが、最近は魚料理の出番が増えて、息子は更に魚好きになりました。そして、ここ数年の委員会活動等を通じて、たくさんの知り合いができました。「こんにちは！」と、声をかけたり、かけられたり、お買い物に行く楽しみが増えました♪



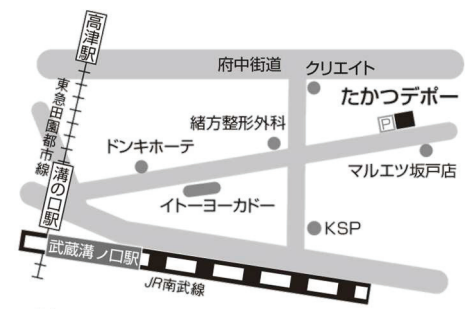
多摩区登戸 2799-1

OPEN 10:30-19:00(水曜日定休)



宮前区宮前平 2-12-6

OPEN 11:00-19:00(日曜日定休)



高津区坂戸 1-11-2

OPEN 10:30-18:30(水曜日定休)

デポ-へお買い物に行ってみよう！

～5月に幸コモンズの皆さんが開催した
宮前平デポ-お買い物ツアーの様子から～

コモンズ組合員にとっては、フロアいっぱいに消費材が並んでいること自体が新鮮😊💡配達ではケースでしか買えないジュースがバラ売りだったり、デポ-でしか買えない品があったり。ワーカーズの説明に真剣に耳を傾け、気になったものを入れていたうちに気付けばカゴがいっぱいになっていた人も……😊

デポ-に行って、生活クラブの品揃えの豊かさを見ることで、沢山の生産者さんとの結びつきを感じることができたそうです



入り口の前でみんなで記念撮影

✦NEW OPEN✦

つながり、ひろがる、まちのスポット 生活クラブステーション宮崎台



自宅ではなく、週に1回決まった場所(ステーション)で開設時間内の好きな

時間で注文品が受け取れる、新たな共同購入の仕組み、生活クラブステーションが7/1(金)生活クラブ高津センター1階で始まりました。利用手数料は不要で、火・金の開設曜日にはW.Coキャリアのワーカーズが常駐し、不在置きによる温度管理などの心配もありません。毎週同じ場所に取りに来る組合員同士、顔を合わせる関係から、どんな豊かな場、コミュニティをひろげていけるのか、今後の展開にご期待ください★

第19回 かわさき生活クラブ生協通常総代会 開催報告

審議事項 第1号議案 2021年度活動・事業報告、第2号議案 2021年度事業報告書・決算関係書類の承認 2021年度監査報告、第3号議案 2022年度活動方針・事業計画の決定、第4号議案 2022年度予算の決定、第5号議案 役員報酬限度額の決定、第6号議案 役員選挙、第7号議案 第19回通常総代会特別アピール



かわさき生活クラブ生活協同組合第19回通常総代会を6月3日(金)高津センターにて開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、会場参加を基本としつつ、書面議決も取り入れた開催となりました。総代総数200人中180名(実出席131名、書面議決48名、当日代理委任1名)が参加し、すべての議案は承認されました。

2021年度 活動・事業報告

基本テーマ:地域での人のつながりを豊かにひろげ、誰もが暮らしやすい地域(FEC自給圏)づくりをすすめます

第4次中期5か年計画 最初となる2021年度は、各組織、各区・各エリアで**かわさき2030行動計画づくり**の活動をすすめることから始めました。

かわさき版FEC自給圏づくり

全ての活動とともに活動する仲間づくりの認識を高め、生活クラブ運動を発信しました。エリア政策でめざしてきた、近隣・近隣・デポや地域他団体との活動連携をすすめ、FEC自給圏づくりへの共感をつくる発信が強まり、新たな仲間が増えました。登録、加入、予約など目標に対する意識を高め、参加につなげることは今後の継続課題です。各組織・委員会・チームなどの活動から、地域連携、地域の人への発信、地域課題の発見など、多くの気づきがありました。自分たちの日々の活動が豊かなまちづくりにつながっている意識を持ち、今後の活動をすすめていきます。

地域に新たな仲間をつくります

地域社会の課題解決に向け、コロナ禍でも各組織で様々な活動を展開しました。地域のイベントへの参加や事務局との連携で地域への発信も強めてきました。ローカルSDGsの取組みとして、高津区を中心に地域の団体・行政と連携し活動を展開、新たな団体や企業との連携につながりました。

共同購入運動をひろげます

生活クラブ神奈川50周年を契機に、多くの人に共同購入運動・利用結集への参加と責任の実感をつくる活動をすすめました。

生活クラブステーション、班還元見直しの議論から共同購入運動についての理解を深めました。

予約共同購入の共感をひろげ理解して利用する人を増やし、予約率を高めることは継続課題です。

平和(命)を中心に多様な活動をつくり、行動する人を増やします

気候危機を横断テーマに通年で取組みました。「未来につなげる♪エネルギーアクション」として市内3か所の駅前署名活動やスタンディングなど多様な活動を展開しました。署名活動は組合員や

市民と直接対話する機会となり、生活クラブのエネルギー政策への共感をつくることができました(目標:3000筆、実績:3163筆)また川崎市議会全会派の署名を得て請願を提出し、7月議会にて趣旨採択となりました。その後「脱炭素戦略かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を踏まえた市民政策提案を11月に提出、市長との懇談も経て2月に回答を受け、川崎市との意見交換会を実施し、今後の連携活動につなげる機会となりました。川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定に対するパブリックコメントを提出しました。

地域福祉を参加型でひろげます

地域でおたがいさまのたすけあい、参加型福祉への共感をつくりひろげる活動をすすめました。たかつデポのフードバンク活動では、地域団体との活動連携、ささえあいが息づく地域づくりがすすみ、生活保護受給につながる事例の発見にも寄与しています。

<<重点政策>>ともに育つづくり

各組織で重点とする活動を検討し、様々に工夫してすすめました。参加型組織運営の理解をさらにひろげるため11月に学習会を行いました。身近な地域での日々のコミュニケーションから様々な発見をしてくることや、人のつながりの大切さを再認識する機会となりました。

<<重点政策>>まちづくり

地域のW.Coを増やす活動を各組織ですすめました。W.Coが地域に必要なサービスを事業としていくことが、豊かなまちづくりにつながっていることへの共感が高まりました。「毎月15日は行こうカーズデー」とし、広報を通年ですすめました。多摩区で「子育てくらぶ」の活用を提案、プレ企画を開催し、自主的な実施参加につながりました。身近な地域の農の価値の共感づくりをすすめました。麻生区で新たな農家との連携につながるきっかけを得ることができました。

<<重点政策>>拠点づくり

のぼりとデポリニューアルを契機に、組合員・W.Coとの連携がすすみました。新たな活動参加者をより増やし、活動をひろげていくことが今後の課題です。

生活リハビリクラブ麻生の移転に向け、9月から建設工事が始まり、4月に新拠点・一むら麻生がオープンしました。移転構想から実行委員会を形成。地域の拠点となるよう、座談会やワークショップ、フィールドワークを行い、拠点には何が必要か、地域のニーズの掘り起こしなど、おおぜいの参加をつくる活動をすすめ、組合員の自主的な活動がひろがっています。また、全体での実感をつくるため、太陽光パネル設置寄付活動を行いました。(目標:かわさき300万円・神奈川全体450万円、3月末現在実績:678名・57団体合計442万円)ふれあい広場推進会議では高津センターを拠点として、参加を主体とした様々な活動から参加を増やして、活動がひろがっています。

<<重点政策>>連携づくり

W.Coとのパートナーシップが各組織で高まりました。地域で働くW.Coの発信から、メンバー拡大につながる活動を各組織でも検討して行いました。FEC+W KAWASAKIまつりで、運動グループや地域の団体との連携した活動がさらにひろがりました。その後の活動連携にもつながっています。かわさきSDGsゴールドパートナー認定から、市内の学校・企業・団体との活動連携につながりました。今後も機会を逃さず、ローカルSDGsのブランディングと重ねて、生活クラブ生協の取組への共感づくりへと活かしていきます。

脱炭素アクションみぞのうちのメンバーに登録し、これまでの活動を地域へひろげるチャンスがより増えています。今後も積極的に、行政との協働、様々な団体・企業との連帯・連携した活動をすすめていきます。

■拡大実績(2021年4月～2022年3月)

	組合員数			期首伸張率(%)	計画達成率(%)	
	期首	加入・脱退	期末		加入	拡大
班個配	8,551	235	8,760	102.4	88.0	58.8
デポ	3,897	182	4,070	104.4	95.8	117.4
合計	12,448	417	12,830	103.1	90.4	75.1

■供給実績(2021年4月～2022年3月)

	供給高(万円)	前年比(%)	計画比(%)	世帯当利用高(円)	前年比(%)	計画比(%)
デポ	77,545	93.8	98.1	16,186	90.3	108.1
合計	358,421	92.6	106.8	23,578	90.3	108.1

■剰余金処分案

I. 当期末処分剰余金	110,314,043 円
II. 当期処分額	
1. 法定準備金	3,600,000 円
2. 任意積立金	30,000,000 円
	33,600,000 円
III. 次期繰越金	76,714,043 円
1. 法定準備金は生協法第51条の4に基づき当期剰余金の10分の1以上に相当する360万円を積み立てます。	
2. 任意積立金はかわさきの共有財産として3,000万円を積み立てます。	
3. 次期繰越剰余金には教育事業等繰越金相当分176万円を含みます。	

2022年度 活動・事業方針

基本テーマ:自在な活動から運動をひろげ、自ら暮らしたい地域づくりをすすめよう

かわさきローカルSDGs

地域に暮らす組合員がそれぞれ具体的な活動をすすめることから、地域を中心とした、地域力が高まり暮らしたい地域社会づくりをめざします。

2030 行動計画の実行

組合員一人ひとりの日々の暮らし方や活動を通して、よりよい地域社会づくりを、より多くの人の参画・連携ですすめます。

- 1)参加と協力の力:各組織で主体的な活動から運動を発信し、共感をつくり、地域に新たな仲間を増やします。
- 2)仲間づくり:新たな人と出会う場を創出し、対話し、共に行動する人を増やします。
- 3)協働と連携:各地域・エリアで、行政との協働、多様な団体との連携を強く活動します。

重点政策

- (1)利用結集の実感を得る活動をすすめ、共同購入運動をひろげます
- (2)脱炭素社会の実現に向け、おおぜいの参加でアクションをすすめます
- (3)多様性を認め合い、たすけあえる地域づくりをすすめます
- (4)地域で働く人を増やし、豊かな地域コミュニティづくりをすすめます

共同購入方針

いまを生きるいのちと次世代のいのちのために、過度な環境負荷・気候危機を招いている市場経済の問題の解決、持続可能な生産と消費の実現をめざし、共同購入運動をすすめます。

1.共同購入の仲間を増やして、利用結集を行います
2.共同購入を理解して利用する人を増やします
利用結集の成果をイメージできる目標を設定して活動をすすめます。

Food(食・農):米の予約共同購入の利用結集に力を入れ、次世代の子どもたちが安心して健康に暮らしていく社会をめざすビジョンフードへの共感を広げます。

米の予約率目標:コモンズ33%、デポー35%

Energy&Ecology(エネルギー・環境):生活クラブでんきへのスイッチングをすすめCO₂削減・脱原発・再生可能エネルギーを推進します。

生活クラブでんき新規契約目標:128件

Care(たすけあい・ケア):生活クラブ共済ハグくみの加入をすすめ、もしもの時の安心をつくるお互い様のたすけあいの輪をひろげます。

- 生活クラブ共済ハグくみ加入目標:366件
- 3.農の生産現場から持続可能な生産と消費を考え、運動への共感をひろげます
 - 4.共同購入のさらなる発展に取組みます
 - (1)生活クラブステーション(コモンズステーション)の導入
 - (2)班還元率の見直し
 - (3)のぼりとデポーリニューアル・新規デポー建設構想

組織活動方針

1.組織運営
かわさきの組合員の直接参加をつくる8コモンズ3デポーの自立と連携で活動をすすめます。

1)仲間づくり
持続可能な社会を次の世代に手渡せるよう、「出会う・対話する・つながる」を軸に地域の活動を豊富化します。自分が共感している生活クラブについて伝え、組合員拡大、新規フォローをすすめます。

(1)身近な地域で、組合員を増やす組合員拡大、人と人との出会いをつくりつなぐネットワークづくりの両輪ですすめます

(2)各組織の自主運営/自主管理をすすめます

(3)組織基盤を強化します

2)共育
全ての活動を共育の場と捉え、自ら考え行動する人を地域におおぜいにしていく共育をすすめます。多様性・多面性を互いに発見し合う対話を軸に参加型の組織・組織基盤強化につなげます。

3)広報
地域・社会の課題を日々の営みに引き寄せ、自分の参加で何がどう変わるのか、気づきをつくり、行動変容の一步、生活クラブ運動・活動への理解・共感につながる発信に取組みます。
機関紙たんぼぼ、生活クラブ神奈川HP、SNS(Instagram、Facebook、LINEなど)、YouTubeの活用をすすめます。かわさきSDGsゴールドパートナー、脱炭素アクションみぞのくち推進会議などの行政・他団体との連携の場も活用し地域への発信力を強めます。

2. 専門委員会活動方針

1)消費委員会

消費材の利用が暮らしやすい地域づくりにつながることを伝え、共同購入に参加する仲間を増やします。各コモンズ・デポーの主体的な活動をすすめ、組合員に会う機会をつくり、消費材を語ります。米の予約に重点をおき、生産者交流会などの活動で『生産者との対話を通じて、消費材に共感する人を増やす』ことをめざします。生産から廃棄までを考えた消費材のあり方を考える機会を持ち、消費材ができた背景や運動を学び、伝え、消費材に共感する仲間を増やします。

2)共催たすけあい委員会

た→たくさんの力を集め
す→住み暮らす地域と人をつなぐ
け→ケアが豊かになることを目指し
あ→「あったらいいな」を実現していこう
い→いつも「おたがいさま」が生きる地域へ!

組合員とともに活動を展開し「おたがいさまのたすけあい」をひろげるために、主体となる委員会形成を全組織でめざします。豊富な活動から人とのつながりで地域を豊かにし、福祉(=幸せ)のまちづくりができるよう、理解と共感が得られるような活動をすすめます。

3)環境平和委員会

子どもたちに手渡したい未来のために
Think globally act from KAWASAKI
地球規模で考え、川崎から行動しよう

全ての命を大切に暮らす共生社会をめざし、委員会を形成します。子どもたちに手渡したい未来を描き、気候危機や大量生産・大量消費・大量廃棄などの非平和な社会についての気づきをひろげ、一緒に活動する仲間を増やします。気候危機から「米の予約」の意義や、被災時に経済的にたすけあえる「ハグくみ」の価値も委員会のテーマとして考えることにもチャレンジします。

その他の活動についても方針を持ち取組んでいきます。紙面の都合上、記載は省略します。

第19回通常総代会 特別アピール 外に出よう!ローカルSDGsを推進しよう

私たち生活クラブの組合員は、みんなの暮らしをみんなで豊かにする、そんな仕組みを創る運動を、おおぜいの参加ですすめています。この先もずっと豊かで平和に安心して生活できるように、「食べもの」「エネルギー」「ケア」そして「働く」を、できる限り自給・循環させ、持続可能な生き方を選び、地域に根差した活動をすすめる仲間です。

生活クラブを支えているのは「安全・健康・環境のために、素性確かな食べものや生活用品を手に入れたい、次の世代に手渡したい」という、一人ひとりの想いです。

新型コロナウイルス感染症から、生活の価値観や認識が大きく変わり、人との関わり方や日常生活を改めて考える機会となっています。

組合員活動についても、これまでの活動の意義を問い直し、様々なやり方を試行錯誤しながら、身近な地域で人とのつながりを大切に活動がひろまり始めました。

消費材を利用する仲間を増やすことは、共同購入運動への共感者をひろげる活動です。

「米」「生活クラブでんき」「生活クラブ共済ハグくみ」の仲間を増やすことで、共同購入運動の力は強くなり、予約共同購入において生産者との約束(食べるから・使うから作ってね=作るから食べてね・使ってね)を持続可能にし、地域や社会の仕組みを変えていくことにつながります。

活動のすべての面でも、おおぜいの仲間を増やすことが大切です。

社会の仕組みを変えるにはエネルギーや時間がかかります。

どんな時代でも、社会の問題というと、「自分は問題とっていない、専門家に任せておけば良い」そんな風に思っている人も多いようです。そこから一歩踏み出して、社会への不安や課題を放置せずに「何とかしたい、していこう」と思う気持ちを大事にして、いま自分には何ができるのか? 小さなことから始めてみませんか?

組合員一人ひとりが、日々の暮らしの中で「こうだったらいいな~」の想いを実現させる為、身近な地域で人と人との出会いをつくり、会話し、共感をつくり、一緒に行動する仲間を増やしていきませんか?

たとえ、ひとりの力は小さくても、想いを分かちあう仲間がいれば、何かが生まれ、何かが動きます。

さあ、外に出よう!

地域と出会い・誰かと会話し・誰かとつながる、この先もずっと豊かで平和に安心して生活できるように、おおぜいの参加でローカルSDGsを推進しましょう。

*議決の本旨に反しない範囲での字句修正は理事会に一任します。

主な質問・意見 ♪ その他いただいたご意見は今後の活動に反映していきます。

Q.コモンズステーションについて詳細を知りたい

👉 カタログ注文品を自宅ではなく、拠点を設け、取りに来てもらう形の新しい共同購入の仕組み。地域コミュニティが弱くなっていることを課題とし、コモンズの中で、おたがいさまのたすけあいの関係をひろげる拠点とすることもめざし、今年度神奈川5地域生協で実験取組を行う。ユニオン全体で1ステーション開設費用上限150万円、かわさきでは備品や拡大推進費を予算化。かわさきでは、高津センターで7月開設に向け活動をすすめている。

Q.ペア配送について詳細を知りたい

👉 近所の知人・友人と2人ペアで加入し1カ所に配送する形の共同購入の新しい仕組み。おたがいさまのたすけあいの関係づくり、脱退抑制の効果も狙う。

Q.(かわさきでは紙の削減という提案があったが)カタログ類も多いと感じているため、削減について対策を進めて欲しい。

👉 今年度から福祉クラブが連合会のシステムに乗ってくるなど、全単協OCR化をまず連合会全体で調整しながら順次進めている状況。カタログ削減はその次のステップですすめていくこととなる。

新 理事長の 野村美湖です！ (みこ)



よろしく
お願いします



座右の曲 : Imagine

座右の銘 : It is never too late to become what you might have been.

(かなりたかった自分になるのに 遅すぎるということはない)

組合員活動を始めた頃は人と話すのが苦手で、山漠の見た目で小鳥の心臓を自称していた私。活動の中で色々な方のお話を伺っていくうちに気付けば相当のお喋りになっていて、小さい頃に口から生まれてきたと言われていたことを思い出しています。ワクワクできる未来を子どもたちに手渡していけるよう、理事メンバーみんなでワイワイ楽しく企んでいきたいと思っています。



新 理事会メンバー を紹介します

座右の銘を 伺いました！



櫻井美緒
中原コモンズ

冒険しよう
宝の箱を探しに
真実はそこにある



永野絵美
かわさきコモンズ

困ったときは
おたがいさま



佐藤由希子
あさお西コモンズ

自分軸で考え行動する



白井暁子
高津コモンズ

情けは人のためにならず
巡り巡って己がため



假屋敷子
のぼりとデポー

恩返しと恩送り



中祐子
宮前平デポー

思い立ったが吉日

私たち組合員のパートナー W.Co



協同組合事務局

ワーカーズ・コレクティブJam

生活クラブが好きな方 ♥

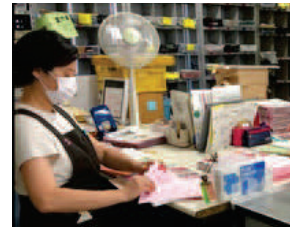
一緒にお仕事してみませんか？

人と接するのが好きな方 ♪

ご連絡、お待ちしております。

生活クラブ組合員を増やす業務、コールセンターのオペレーター業務など。要普通免許話を聞いてみたい方は ☎045-472-4456

自分のペースで大丈夫です。私たちJamは、お互いをサポートしあって活動しています。一人ひとりが大切なチームの一員として活躍できる職場です。例えば..イベントに参加して消費材をお勧めしたり、組合員になりたい人の加入の手続きをしたりします。毎週届く注文用紙の中のチラシをセットしたり、組合員の皆さんに電話でお知らせのご案内をすることもあります。忙しいですが、高津センターは笑顔とありがたいの声かけがあふれるセンターです。地域のつながりを大切に居心地がよい職場環境を心がけています。



15 W.Co DAY
毎月15日は行こう！ワーカーズデー

働きたいと思ったら毎月15日は行こう！W.Co
デー開催中！

こちらのフォームから一括で川崎市周辺の複数の
W.Coにご連絡いただけます



W.Co Jam
高津ランチ
菊谷久子さん

理事会報告

5月 監事会:2021監査報告▼討議決定:総代会議案書・最終決定▼報告承認:地域たすけあいコーディネーター設置を受けた地域生協重点政策,のぼりとデポーリニューアルにむけた理事会対策,理事会研修・理事ミーティング計画,2022リフレッシュツアー実施計画,エコシティかわさきフェス2022開催計画,たんぼ発行計画,2022W.Co委託契約

6月臨時 討議決定:理事長・常務理事・専務理事の選任及び代表理事の選任,のぼりとデポー8月リニューアルオープンの見直し

6月 監事会:2022監査の重点項▼討議 :かわさきローカルSDGs 2030行動計画,新規加入者対策▼報告承認:監査指摘事項への対応,のぼりとデポーリニューアルオープンに向けた理事会対策,理事会研修・理事ミーティング計画,2022ヒロシマ代表派遣計画,2022エコロひろば継続,新規エコロひろばの承認,居場所をテーマとしたアソシエーション支援基金助成申請,2022キララ賞推薦活動実施計画,たんぼ181初稿・182号企画

組織報告

	組合員数 期首(4月)	組合員数 5月末	世帯当たり利用高 5月末
班	719	718	24330
個配	8041	8114	22753
デポー	4070	4092	13968
合計	12830	12924	20051

編集後記

なかなか手に入らないデポーで買った美味しいパンを、大切に大切にちびちびチビチビ食べてましたら…カビを生やしてしまいました。まだ半分も食べていなかったのに…美味しいものは美味しい時にすぐに食べることを決意しました。(Richi ♥)

6/4(土) & 6/5(日)

エコシティ かわさきフェス



体験・出展ブース

@eM/Park 参加者：延べ500名（スタッフ含）



今年で4回目となるエコシティかわさきフェス。脱炭素アクションみぞのくち推進会議の会員団体にも参加を呼びかけ、川崎市環境局脱炭素戦略推進室・高津区役所企画課を含む計24団体の協力によるイベント開催になりました。屋上の開放的な会場に大人も子どもも楽しめる体験や展示のブースが並び、生活クラブは創作昆虫ムシボットとアップサイクルアクセサリー作りのブースを出展しました。海洋プラスチックの問題を取り上げ、ごみを出さない・地球に優しい暮らしを提案し、びんのリユースの仕組み（グリーンシステム）や再生可能エネルギーを推進する生活クラブでんきを紹介しました。各団体の脱炭素や環境保全に対する取り組みを知ること、団体間の交流も深まり、私たちが目指す脱炭素社会の実現に向けて今後も連携して活動していきます。（山口）

トークイベント

@溝ノ口劇場&オンライン配信

第1部 露木志奈さん 講演会 参加者：59名

「今すぐ行動しなければ未来は守れない。」「自分という小さな世界から今できることをはじめよう」という真っ直ぐで熱いメッセージに、改めて行動する勇気をもらいました。昨年度のキララ賞受賞者でもある志奈さん。彼女のように、次世代を担う若者を応援していきたいと思います。（杉本）



第2部 谷口たかひささん 講演会 参加者：58名

気候危機は誰もが「無関係」ではいられず、最初に無くなるのは「平和」だと語る環境活動家の谷口たかひささん。でも、みんなが「自分」と「他の命」にほんの少し優しくなって、「自分に何ができるのか？」考え行動することで、世界は変わるのだと。絶望ではなく希望の未来を子ども達に手渡したく活動している私には、涙が出るメッセージをたくさんいただきました。（福本）



5/9(月)

参加者13名

畑de交流会



生産者の皆さんありがとうございました

「旬の畑を知る」「生活クラブ基準の野菜と地場野菜の価値を知り利用する組合員を増やす」を目的に、藤井さん・小泉さん・吉岡さんの3生産者の畑見学を行いました。都市近郊農業の苦勞・後継者不足・近年の気候変動の問題・生活クラブとの関わりの変化等・・・さまざまなお話しをしていただきました。

私は未来の子どもたちのために川崎の農地や豊かな自然を残したいと心から思います。消費者として出来ることは、地場の野菜を選ぶこと、これから先も生産者が安定して野菜を作り続けるように、生産者と一緒に考える必要があると感じています。かわさき地場野菜生産者の野菜はかわさきの3つのデポで購入できます。生活クラブ基準で作られた旬の野菜をみんなで利用しましょう！（杉本）

『フードバンクかながわ』学習会 & 仕分け作業ボランティア体験

設立目的や仕組みを学んだ後、物資が届けられた倉庫に移動し、仕分け作業を体験しました。様々な危機に直面している昨今、誰もが生活困窮に陥る可能性はあります。『いま、自分に出来る事はなにか・・・』を考えさせられました。（佐藤）



一つ一つ、賞味期限ごとに種類別（主食・副菜・菓子・飲み物など）に棚に仕分ける、時間のかかる作業でした。たかつデポではフードパントリーの活動もしています。配布する食品は、まず寄付した方、仕分けボランティアの方、それぞれの思いが詰まって届いているものだと知り、必要としている方々へ、私たちが責任を持ってお渡しする必要性を強く感じました。1人1人の小さな力も、合わされば大きな力となります。みんなで協力して、フードバンク活動を行ってまいります。

（たかつデポ-共済委員長：浅田）

なたね油 生産者交流会



5/17(火) 高津センター(ZOOM併用)

参加者：40名

米澤製油(株)の生産者交流会を開催しました。コロナ禍や気候危機、世界情勢の影響によりなたねの価格は高騰しています。「国産ブレンドなたね油」は遺伝子組み換えでない菜種を原料に、国産なたね油を30%ブレンドしています。化学薬品を使わずに油を抽出し、特許を取得した湯洗い洗浄で無添加を実現しました。なたねの自給率は0.1%ほど。油は遺伝子組換えの表示義務が無く、油を抽出するために使用するノルマルヘキサンも加工助剤で表示義務がありません。安全への想いからできた無添加のなたね油の価値を改めて確認することができました。なたね油は必須脂肪酸を含むバランスの取れた優れた油です。十分に足し油をすると劣化しにくいいため、炒め物など、最後まで使い切って下さいね。

(松下)

インフォメーション

2030年に向けて私たちができるアクション



information

かわさきで遊ぼう！

2022夏のリフレッシュツアーinかわさき

9/17 土 PM のほりとデポーでお買い物

9/18 日 AM・PM 子ども夢パーク・生田緑地
16:00~17:30 組合員交流会 (オンライン含)

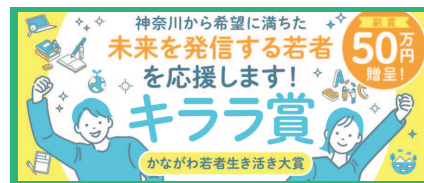
東日本大震災から復興支援の一環として毎年行われている、福島県や栃木県の組合員の子どもとその家族を他地域の生活クラブが招くリフレッシュツアー。昨年はかわさきで実施を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、今年もリベンジ開催します！

皆さんも一緒に参加しましょう！！

申込み〆切 9/10



地域で活動する若者を
ご紹介ください！



詳細はHPへ
エントリー締切
8/31(火)

まずは気軽にエントリー(推薦)から▼

せっけんマイスター講座

9/10 土 講師：長谷川治氏

コロナウイルスに対するせっけんの効果、
合成洗剤と香害問題について

今年もせっけんマイスター講座が始まります。せっけんの正しい知識、使い方を学ぶ全5回の講座(希望する回のみ受講も可能)。昨年に引き続き、2~4回は各地域でも開催します。全5回受講で、マイスターに認定され、かわさきかえるプロジェクトの講師としても活躍できます。(環境平和委員会)

申込み〆切 9/5

キララ賞	神奈川県内で、環境・文化・福祉・国際交流など様々な分野で活躍している若者を応援することを目的に、毎年2団体の団体または個人に贈呈。
受賞内容	副賞として50万円を贈呈し、神奈川県知事の表敬訪問や、組合員との交流会を通じて、地域社会に知らせるなどさらなる活動の発展を応援します。
推薦対象者	地域で活躍する若者(30代まで) 白薦・他薦は問わず

たんぼほインフォメーション申込票

高津センター：かわさき生活クラブ理事会事務局行

矢向センター：かわさき生活クラブ担当行

「かわさきで遊ぼう！ 2022夏のリフレッシュツアーinかわさき」

詳細を知りたい

9/18 交流会 (実参加) 9/18 交流会 (Zoom参加)

9/10 せっけんマイスター講座 講師：長谷川治氏

名前 _____ 電話 _____

コモンズ・デポー名前 _____

mail _____

託児希望者・子どもの名前 _____ (歳)

●託児ありの企画は、高津センターで参加する方のみ可能です。託児ルールは後ほどお送りします。

かわさき生活クラブ生協高津センター宮前区宮崎2丁目1-1

FAX:044-852-0680・メール：Kawasaki.seikatsuclub@gmail.com